

「園芸導入事例」、「支援事業」、「研修案内」など紹介します

わたしも作ったよ！



—カリフラワー編—

○カリフラワー栽培について

阿賀野市農業振興協議会では複合営農を推進するため、水稲と作業競合が少ない園芸品目の提案をしています。

今回は栽培推進4年目を迎え、定着に向け取り組んでいるカリフラワーを紹介します。

○導入のメリット

○価格は比較的安定し、10a所得で17万円を目標とします。

○栽培はブロッコリーに準じ、転作田でも排水条件が良いほ場であれば栽培できます。

○栽培指導会（技術面）や補助制度（支援面）があり取り組みやすい。

○カリフラワーに関する支援制度

◆園芸産地化支援事業(改正)

- ・事業概要：カリフラワーの産地化を目指すため、予冷センターに出荷する農業者を支援する。
- ・補助対象：出荷額と基準額の差額を補てん及び出荷資材の補助。
※出荷額が基準額を下回った場合に差額を補助する。
※上記規格の出荷に対して出荷用ダンボール代を支援する。
- ・要件：南部予冷センターを通じた出荷、A品（L、2Lのみ）

◆阿賀野市園芸作物価格安定事業

- ・事業概要：対象園芸作物の価格に著しい低落があった場合において、その生産者の経営に及ぼす影響を緩和するための補給金を交付する。
- ・補助対象：保証対象月（品目により異なる）の基準額を下回った際、補給金を交付。
※詳しい内容はJA、市にお問い合わせください。
- ・要件：南部予冷センターを通じた出荷

◆水田活用の直接支払交付金(水田を活用した栽培)

- ・販売目的で生産する取り組みに対して、1圃場950㎡以上の作付で50,000円を助成。

園芸品目生産グループ紹介

【JA北蒲みなみ花卉園芸部会】

～切花栽培してみませんか？～

○切花キク編

市内水原・安田地区では切花キクの生産をしています。

輪菊を中心に小菊やスプレー菊を季節ごとに市場出荷し、現在では品質、出荷量ともに県内有数の産地として、各市場で高い評価を得ています。

JA北蒲みなみ花卉園芸部会では、定期的に生産者の圃場を巡回し、現地指導会を開催しながら技術向上に努めています。

○導入のメリット

○繁殖はさし芽で行うため、苗を自給でき種苗費を低減できる。

※導入最初の苗は別途購入が必要。

○品種、作型、ハウスを組み合わせれば、6月～12月頃まで連続的に出荷できる。

○小菊、スプレー菊が芽かき作業が無いので、輪菊と比べて作りやすい。

○切花キクに関する支援制度

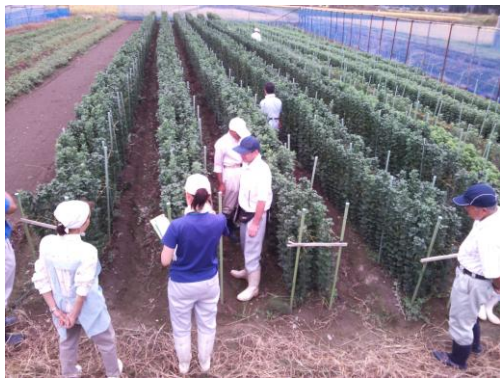
◆水稲育苗ハウス利活用促進事業

- ・事業概要：水稲育苗ハウスの空き期間を利用し、新たに野菜・花卉等の栽培に取り組む農家を支援する。
- ・補助対象：栽培に係る種苗費や肥料費等生産資材の1/2以内を支援する。(上限100,000円)
- ・要件：栽培面積2a以上、出荷販売

◆新品種導入支援事業

- ・補助対象：新品種導入に係る花き栽培許諾料の1/2以内を支援する。
- ・要件：JA北蒲みなみ花卉園芸部会の加入、南部予冷センター出荷販売

※部会及び栽培に関するお問い合わせ先 担当:JA北蒲みなみ営農センター 中島 電話:62-2235



★JA・農林課・普及センターでは、様々な品目の栽培指導や支援を行うなど、園芸生産をサポートしています。ご興味がある方は下記までお問い合わせ下さい。

【お問い合わせ先】○JA北蒲みなみ 営農センター（樋口・五十嵐） TEL62-2235

○JAささかみ 本所営農課（石山） TEL62-2410【代表】 TEL25-7252【営農課直通】

○新発田農業普及指導センター（野菜） TEL0254-26-9163

// （花・果樹）TEL0254-26-9155

○阿賀野市農林課農林振興係（直通） TEL61-2478